

京都橘大学 教職課程【中等】

履修カルテ

氏名	
学籍番号	
所属 学部・学科・コース	
在学期間	年 月 入学
	年 月 卒業（予定）

京都橘大学 履修カルテ

学籍番号:

氏名:

科目の履修状況【66条の6関係】中学校教諭1種()、高等学校教諭1種()

施行規則に定める科目名	本学授業科目	単位数	修得年度 (西暦)	教員名	評価 素点	備考
日本国憲法	日本国憲法	2				
体育	体育理論	2				文学部対象外
	スポーツコース I	1				
	スポーツコース II	1				
外国語コミュニケーション						
数理、データ活用及び人工知能に 関する科目又は情報機器の操作						

科目の履修状況【教育の基礎的理解に関する科目等】中学校教諭1種()、高等学校教諭1種()

施行規則に定める科目区分等	本学授業科目	単位数	修得年度 (西暦)	教員名	評価 素点	備考
≪例≫ 教育の基礎的理解に関する科目	≪例≫ 教職入門	2	2026前期	●●	S 93	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2				
	教職入門	2				
	教育制度論	2				
	教育心理学	2				
	特別支援教育論	1				
	教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談 等に関する科目	道徳教育の理論と方法	2				中学校1種のみ
	総合的な学習の時間の指導法	1				
	特別活動論	2				
	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用含む)	2				
	生徒・進路指導	2				
	教育相談	2				
教育実践に関する科目	教育実習指導	1				
	教育実習 I	2				中学校1種のみ
	教育実習 II	2				
	小中教育実習	4				国際英語学科生のうち、許可を得た者のみ。(その場合「教育実習 I」「教育実習 II」の履修不要)
	教職実践演習(中等)	2				

京都橋大学 履修カルテ

学籍番号:

氏名:

科目の履修状況【教科及び教科の指導法に関する科目】

中学校教諭1種()、高等学校教諭1種()

施行規則に定める科目区分等	本学授業科目	単位数	修得年度 (西暦)	教員名	評価 素点
教科に関する 専門的事項					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	()科教育法Ⅰ				
	()科教育法Ⅱ				
	()科教育法Ⅲ				
	()科教育法Ⅳ				

科目の履修状況【大学が独自に設定する科目】

中学校教諭1種()、高等学校教諭1種()※情報工学科、ロボティクス学科、デジタルメディア学科は当該区分履修不要

施行規則に定める科目区分等	本学授業科目	単位数	修得年度 (西暦)	教員名	評価 素点	備考
大学が独自に設定する科目	福祉とボランティア	2				総合心理学科、情報工学科、ロボティクス学科、デジタルメディア学科は対象外
	人権と教育	2				情報工学科、ロボティクス学科、デジタルメディア学科は対象外
	道徳教育の理論と方法	2				高校1種のみ対象、情報工学科、ロボティクス学科、デジタルメディア学科は対象外
	学校経営と学校図書館	2				
	学校図書館メディアの構成	2				
	学習指導と学校図書館	2				
	読書と豊かな人間性	2				
	情報メディアの活用	2				
	日本語教授法Ⅰ	2				「国語」免許取得者のみ対象
	日本語教授法Ⅱ	2				「国語」免許取得者のみ対象
	日本語教授法Ⅲ	2				「国語」免許取得者のみ対象
	日本語教授法Ⅳ	2				「国語」免許取得者のみ対象
	学校等体験活動	1				情報工学科、ロボティクス学科、デジタルメディア学科は対象外

京都橘大学 履修カルテ

学籍番号:

氏名:

科目の履修状況【①教職に関する科目】中学校教諭1種()、高等学校教諭1種()

■ 必要な資質能力についての自己評価

項目①	項目②	指標	自己評価			
			1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。				
	学校の教育理念、学校教育の社会的・制度的・経営的事項	学校の教育理念、学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。				
	子どもの状況に応じた学習集団の形成	個々の子どもの特性や状況に応じた学習集団形成に必要な基礎理解・知識を修得していますか。				
他者との協力	保護者・地域との連携・協力	ボランティア活動を通して、地域との連携・協力の重要性を理解していますか。				
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。				
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つれたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。				
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。				
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。				
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。				
教科や領域・教育課程に関する基礎知識・技能	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。				
	教育課程の構想に関する基礎理論・知識	教育活動の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	総合的な学習(探究)の時間	「総合的な学習(探究)の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	情報機器の活用	情報機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。				
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。				
教育実践	教材を分析する力	教材を分析することができますか。				
	授業を構想する力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。				
	教材を開発する力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。				
	授業を展開する力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。				
	授業での子どもへの接し方	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身につけていますか。				
課題探求	課題認識と探究心	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続ける姿勢を持っていますか。				
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見をもつことができますか。				

実習前提科目確認シート(高校実習用)

下表記載の科目は、高校で実習を行う場合の実習前提条件です。

対象科目・必要修得科目数・前提条件科目の修得期限を記載していますので、每学期成績確定後、修得済の前提科目をチェックしてください。

※科目の修得状況が規定に達していることに加え、2・3回生終了時点の累計GPAが2.3以上であることも必要ですのでご注意ください。

科目表名	実習前提科目名	修得状況	実習前提条件	前提条件達成期限
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		左記科目を8科目以上修得	3回生終了時
	教職入門			
	教育制度論			
	教育心理学			
	特別支援教育論			
	教育課程論			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法			
	特別活動論			
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)			
	生徒・進路指導			
	教育相談			
教科及び教科の指導法に関する科目	(実習予定教科の)教科教育法Ⅰ		実習予定教科の教科教育法を全て修得	
	(実習予定教科の)教科教育法Ⅱ			
	(実習予定教科の)教科教育法Ⅲ			
	(実習予定教科の)教科教育法Ⅳ			

教職課程 回生ごとの振り返り【1回生終了時】

学籍番号:

氏名:

1回生時の教職課程を振り返り、学んだことや、改善していきたいことを以下に記入してください。
また、2回生時の学びの目標を記入して下さい。

教職課程 回生ごとの振り返り【2回生終了時】

学籍番号:

氏名:

2回生時の教職課程を振り返り、学んだことや、改善していきたいことを以下に記入してください。
また、3回生時の学びの目標を記入して下さい。

教職課程 回生ごとの振り返り【3回生終了時】

学籍番号:

氏名:

3回生時の教職課程を振り返り、学んだことや、改善していきたいことを以下に記入してください。
また、4回生時の学びの目標を記入して下さい。

教職課程 回生ごとの振り返り【4回生時】

学籍番号:

氏名:

4年間の教職課程を振り返り、学んだことや、今後、生かしていきたいこと等を以下に記入してください。

ボランティア活動について(各自適宜記入)

活動期間	活動先 施設名等	活動内容	活動から学んだこと等
(例) XXXX年4月1日 ～XXXX年3月31日	京都市立 京都小学校	・授業アシスタント ・放課後の学習サポート	教員が行う授業を直で見学ができ、大学では得られない実践的な指導方法を日々学ぶことができた。また、学習が遅れている生徒に対して、個別に対応をして、実践で必要とされる生徒指導も学ぶことができた。
①			
②			
③			
④			
⑤			

進路について(各自適宜記入)

以下、回生ごとに自分の進路について考えてください。

回生(期)	進路希望	進路について、 考えていること、不安なこと等	相談した教員
【例】2回生 (後期終了時)	教員 (公立中学・英語)	学校ボランティアを行い、教員を目指すことに決めました。自分にとって、中学と高校どちらが合っているのか？教採はどのように勉強したらよいのか？色々と考えています。	XXXX年XX月XX日 (X) 教職保育職支援室/XXX先生
1回生 (前期終了時)			
1回生 (後期終了時)			
2回生 (前期終了時)			
2回生 (後期終了時)			
3回生 (前期終了時)			
3回生 (後期終了時)			
4回生 (前期終了時)			
4回生 (後期終了時)			